

## I 先行する神の恵み

1. 私達の罪の心にあるのは、「善意」(原語：善、善良、正しさ)の反対の「悪意」(原語：悪、悪徳、不道德、悪意、意地悪な心、陰険な心、根性)である。主は言われた。「人から出るもの、これが、人を汚すのです。内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです」マルコ7：20-23。これらの罪は、私達の内側にある悪意とつながっている。私達の心の内側に、これらの一つ一つの罪がある。その内側の罪が、外に現れて悪い行いとなる。これらのすべての私達の罪を主が背負い、十字架で身代わりに刑罰を受けられ、私達の罪が償われ、私達が主を信じる時、罪が赦され、新しい命、新しい人生が与えられる驚くべき恵みを神に心から感謝したい。

2. 私達が主を信じる時、罪が赦されるだけでなく、御霊なる神が、私達の心に生まれ、新生の恵みを与え、新しい性質を与え、「悪意」をきよめ、新しい「善意」の性質を与え、罪、悪習への勝利を与え、実を結ばせて下さる恵みを感謝したい。

II 御言葉から教えられる内住の御霊、聖霊なる神による希望。

1. 「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。…あなたがた自身が善意(御霊の実)にあふれ、すべての知恵に満たされ、また互いに訓戒し合うことができることを、この私は確信しています」ローマ15：13, 14。聖霊なる神は、私達を善意(善、善良、神の前の真の正しさ)にあふれさせて下さる。すべての知恵(神による判断力)に満たし、互いに、悪意に満ちた道に近づかないように訓戒し合うよう導かれる。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古ものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」IIコリント5：17。新生を与える御霊なる神は、私達の意志、心、価値感、考え方、判断力他、すべての領域を清め、新しく変え続けて下さる。「悪意」に満ちた人生から「善意」にあふれる者に変え続けて下さる。主にあって希望を持つことができる。

2. 「あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、(世の光そのものである)主にあって、光(主の光をいただき世を照らす光)となりました。光の子どもらしく歩みなさい。…光の結ぶ実は、あらゆる善意(御霊の実)と正義と真実なのです…そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出さなさい(光の中に住まわれる神に罪を告白し赦しときよめを受けなさい)」エペソ5：8-11。御霊の実である善意は、主に喜ばれることが何であるかを見分ける善意。それを見分ける知恵をいただく為には、御霊に満たされる(①礼拝②ディボーション③互いに祈り合う)事と御言葉と祈りが必要。

3. 「私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善(善意と同じ原語。御霊の実)を慕うあらゆる願いと信仰の働きを全うしてくださいますように」IIテサロニケ1：11。御霊の御力により、私達は、悪を慕う人生から、善(神の喜ばれる正しさ。御霊の実)を慕う者に変えられ続ける。

III 聖霊なる神の御力によって善(神の

喜ばれる事)を慕う人生に変えられた人の証し:「ある所に、一人の飲んだくれがいました。彼がお酒を飲み暴れると、手が付けられません。子供達や奥さんも虐待し、家庭はめちゃくちゃでした。お金は飲み代に消え、家財道具は質に消え、生活はどんどん貧しくなっています。ところが、この人が生けるキリストに出会ったのです。彼は、主によって新しく変えられました。お酒を飲まなくなりました。以前は大声で怒鳴っていたのが、今や祈りの声、賛美の声に変えられました。生ける御言葉である聖書を読むようになりました。主の愛を受け優しくなりました。さて、彼の職場には飲み仲間がたくさんいました。仲間達が飲みを誘いますが、彼は断るようになりました。「実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出さない」の御言葉に生きる者に御霊によって変えられたのです。下品な会話の輪に加わらず、生ける御言葉である聖書を読んでいました」。ここで大切な事は、この人が、自分自身や家庭を駄目にするお酒を止める、下品な会話に加わらないという面だけではなく、御霊なる神により、もっと素晴らしい積極的な祈り、賛美、生ける御言葉を読む事が新しく加わり、新しい人生に変えられた恵みである。私達は、生まれたままの状態では、神を喜ばせる善意を持っていない。悪を心や人生から出すだけでは足りない。なぜなら、ある悪を心や人生から出しても、その空白になった所に、別の悪が入って来る、その悪に縛られ、その悪の奴隷になって行く。私達の人間には、そのような霊的な法則がある。それ故に、神は、悪いものを出すだけでなく、もっと心を真に満たす良いもの=イエス御自身、御霊なる神、神の愛、生ける御言葉を私達の心に積極的に入れる事を教えられる。「酒に酔ってははいけません。そこには放蕩(乱行、不道徳、不品行、むだな、みだらな、浪費、使い果たす、最終的には破壊)があるからです。むしろ(原語にはある)、御霊に満たされなさい」エペソ5:18。聖書は、常に、「(悪を)してはならない」で終わりではなく、神から素晴らしい恵みをいただいて、御霊により新しい人生を送りなさいと励まされる。御霊なる神が私達の心に新しい性質、新しい願望、新しい力を与えられる時、私達は御霊が下さる善意から生まれる良い業に励む者に変えられて行く。IV御霊の実は、私達の心におられるイエス様のご性質を示している。イエス様に敵対する人々は、イエス様を殺そうと悪意、ねたみに満ちていた。それに比べ、常に御霊に満ちておられたイエス様は、「善意」に満ちておられた。神が喜ばれる正しい心、善意で人々に愛を示された。罪である「悪意」は、神に逆らい、人々の悪口を言い、陰口を言い、相手の人格を攻撃し、破滅させようとする。しかし、聖と善意に満ちたイエス様は、聖書の人物や私達をやっつける事が目的ではなく、私達が自分の罪、悪に気付いて、悔い改め、神に立ち返り救われ、私達を立ち直らせ、主と結びついた新しい人生を送らせる事が目的。それこそ、御霊の实=イエス様のご性質である「善意」である。私達も、礼拝、祈りと御言葉のディポジション、互いの祈り合いで御霊に満たされる時、御霊は私達に「善意」という実を实らせて下さる。御霊なる神は、悪、悪習から解放し、神ご自身で満たされる人生を与え、人に対しても悪意をもって悪口を言い、その人の人生を攻撃する者ではなく、御霊が下さる「善意」をもって、家族、知人、友人を愛し、その人々が神に立ち返り救われ、御霊による新しい人生を歩めるように、執り成しの祈りをし、愛をもって接する者に、私達を変え続けて下さる!心から感謝!希望を持って歩みたい!